

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2010年49週 (12月2週 12/6 ~ 12/12)

2010年11月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、インフルエンザ、結核  
病原体検出情報  
定点医療機関コメント  
感染性胃腸炎、マイコプラズマ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症 等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(31)、 Dengue熱(1)、急性脳炎(1)、梅毒(1)、麻疹(2)

2010年11月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 感染性胃腸炎(図1) [警報発令中]

49週の定点当たり報告数は20.4と警報レベル(20.0)以上となったため、愛知県は警報を発令しました(12月16日)。豊橋市には11月29日に警報が発令されています。

#### 【参考ページ】

感染性胃腸炎の警報発令について(豊橋市)

<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/>

### インフルエンザ

49週の定点当たり報告数は0.52、48週71人、49週102人です。

2010/2011シーズンに病原体定点から寄せられた14検

体のうち、4検体から新型AH1pdm、3検体からAH3、2検体からB型(Victoria系統)インフルエンザウイルスが検出されました(2ページ参照)。

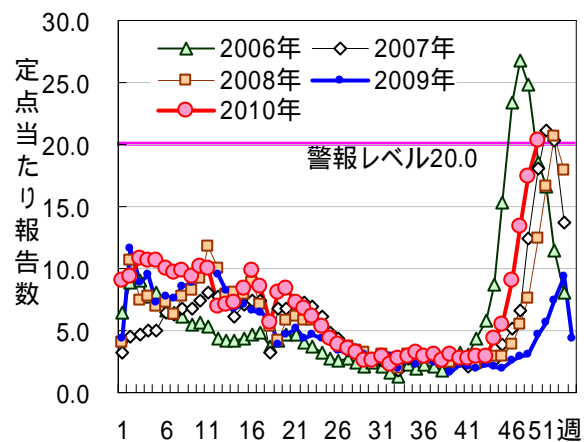


図1 感染性胃腸炎

### 集団かぜの発生について(健康対策課発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第1報	12月13日	半田	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000036984.html">http://www.pref.aichi.jp/0000036984.html</a>
第2報	12月15日	瀬戸	<a href="http://www.pref.aichi.jp/0000037059.html">http://www.pref.aichi.jp/0000037059.html</a>

### RSウイルス感染症

49週の定点当たり報告数は1.02、48週159人、49週186人です。

### 結核(図2)

2010年11月の報告数は138例(うち無症状病原体保有者23例)、2010年累計(1~11月診断分)は1,824例(同304例)です。2009年1~11月診断分は1,893例(同312例)、2009年総計は2,068例(同341例)でした。

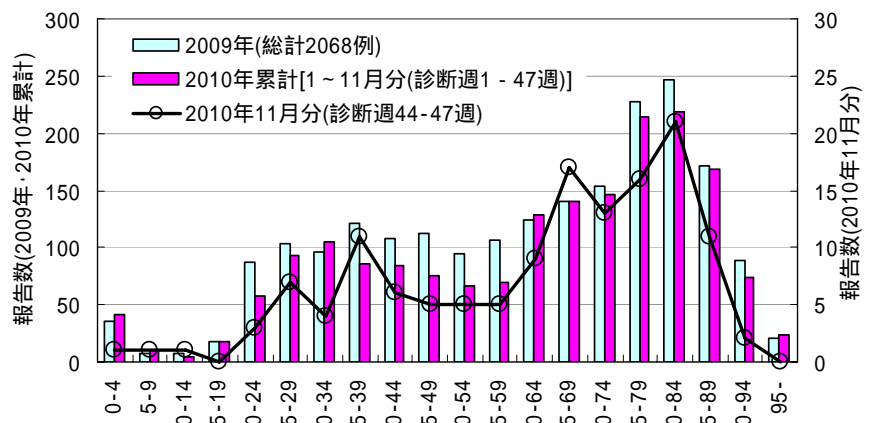


図2 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎 脳症	インフルエンザ	麻疹
患者数	246	89	79	9	29	30	22	463(14)	9(4)
PV-1	2								
PV-2	1								
PV-3	2								
CV-A4		1	25				1		
CV-A5			11						
CV-A6		3	5						
CV-A10			5						
CV-A16		2				1			
EV-71		50	1			5			
CV-B1			1						
CV-B2			1						
CV-B4	3		1			1			
CV-B5						1			
CV-A9			1						
E-3	1		1						
E-6						2			
E-25	1	1	1			1			
HPeV-3		1							
FluAH1pdm								373(4)	
FluAH3								3(3)	
FluB								7(2)	
MeV									3(1)
Rota A G1	10								
Rota A G2	1								
NV-G	5								
NV-G	79								
SV	2								
AstV	3								
Ad-1	3								
Ad-2	3	2						2	
Ad-3	10			2				1	
Ad-4	1								
Ad-5	5								
Ad-37					4				
Ad-41	18								
B19V									1(0)
検査中	40	13	3	2	8	2	2	0(5)	2(1)
陰性	82	18	23	3	17	17	19	77	3(2)

インフルエンザは 2009/2010 シーズン、( ) 内は 2010/2011 シーズン(別掲)の検査結果です。  
麻疹の( )内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名)

Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19 型、CV：コクサッキーウイルス(Cox.)、E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH1pdm：新型インフルエンザウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV：ヒトパレコウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ

- 1) 「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>
- 2) 「2009/10・2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」  
[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08\\_09.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

乳児を除いて全年齢に感染性胃腸炎流行中。

【一宮市 後藤小児科医院】

マイコプラズマ感染症 4歳4名。

【一宮市 ささい小児科】

クラミジア ニューモニエ IgG IgA 大人女1名。

【一宮市 城後小児科】

胃腸かぜ増加中です。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

胃腸炎の流行が続いていますが、2回ウイルス性と思われる胃腸炎に罹患する症例があります。細菌性ではカンピロバクターが目立ちます。

りんご病は小流行がある様です。

【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎、非常に多いです。

溶連菌感染症もやや目立ちます。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

RSウイルス感染症13例。入院例2例あり。

溶連菌感染症散発。

インフルはまだありません。

【岩倉市 なかよしこどもクリニック】

溶連菌感染症 4例。

感染性胃腸炎多発して居ます。

【清須市 丹羽医院】

地域の小学校で感染性胃腸炎の集団感染があり、ノロウイルスG2が検出されました。

【北名古屋市 田中クリニック】

尾張東部地区

A型インフルエンザ1名。

感染性胃腸炎が急増し、水痘、溶連菌感染症も多くみられます。

百日咳(ワクチン済) 2歳男。

病原大腸菌(O1) 5か月男。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザ(A型)2名。1名は成人でした。手足口病がまだみられます。

その他溶連菌感染症。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

咽頭結膜熱増加してます。

相変わらず、感染性胃腸炎は多し。

【豊明市 こども元気クリニック】

感染性胃腸炎が多いようです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

感染性胃腸炎続発中。

RSウイルス感染症続発中。

水痘、ムンプス少々。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染性胃腸炎（主にノロ）が続いています。

【小牧市 志水こどもクリニック】

あいかわらず胃腸炎が多いです。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

RSウイルス感染症が依然として多いです。

【春日井市 春日井市民病院】

感染性胃腸炎流行中。

インフルエンザはともにA型です。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザA型 3名。当院では今シーズン初。同じ小学校2年生で数名いたようです。胃腸炎多いです。

溶連菌感染症も増えました。

RS感染症 3名

【東海市 もしもしこどもクリニック】

口周囲にヘルペスのように発疹が出る手足口病？が前週くらいから数例あります。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

*E. coli* (O74) 7歳女

【豊田市 星が丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 3名

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

14歳男 サルモネラ

【岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院】

6歳男 アデノウイルス(+)

【岡崎市 医療法人深田小児科】

溶連菌感染症が増加。

嘔吐・下痢症が流行中です。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

溶連菌感染症、手足口病散見されます。

インフルエンザA型、5歳男。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ(+ )5名(1歳男、1歳女2名、4歳女、5歳女)

インフルエンザA型 8名

3歳女 サルモネラO4

2歳女 マイコプラズマ

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザはA型

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザはB型

マイコ気管支炎 4名(2歳、4歳、9歳、14歳)

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザA 1名

インフルエンザB 24名

アデノウイルス 6名

ヘルパンギーナ 1名

【知立市 宮谷クリニック】

感染性胃腸炎が流行中です。

【みよし市 みよし市民病院】

アデノウイルス感染症 2歳男、1歳女、3か月男  
病原大腸菌 10歳男 O1 VT (-)

【幸田町 とみた小児科】

感染性胃腸炎依然として流行しています。

【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

感染性胃腸炎が流行しています。  
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
 アデノ扁桃炎 3歳男2人  
 【豊橋市 医療法人野村小児科】

インフルエンザA(+)です。  
 【豊川市 豊川市民病院】  
 感染性胃腸炎多い。  
 水痘ふえはじめました。  
 インフルエンザはありません。  
 【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況(愛知県全体・保健所受理週別)2010年12月15日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki\\_jun100311.pdf](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun100311.pdf)

結核 (二類感染症)

報告保健所	2010年49週報告数			2010年累計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	12	5	1	828	242	143
豊田市				78	17	21
豊橋市	3	1	1	64	18	10
岡崎市	3	1	2	71	28	13
一宮	1	1		107	35	13
瀬戸	5	2		150	32	28
半田				45	12	5
春日井	2			95	33	13
豊川				52	18	10
津島				86	24	8
西尾	2		1	48	12	1
江南	2			42	11	2
新城				9	2	2
知多				90	32	28
師勝				37	12	2
衣浦東部	1	1		95	39	16
合計	31	11	5	1,897	567	315

四類・五類感染症(全数把握) (推定感染経路、推定感染地域は確定も含む)

デング熱 (四類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	江南	32歳	女	デング熱	インドネシア

急性脳炎 (五類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	7歳	男	病原体(コクサッキーウイルス)	国内

梅毒 (五類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	54歳	男	無症候	性的接触	国内

麻疹 (五類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	6歳	男	不明	国内
2	岡崎市	11歳	男	無	国内

## 11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [ ( )は無症状病原体保有者再掲 ]

2009～2010年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2010年11月			2010年 累計 <愛知県全体>	2009年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	74 (14)	64 (9)	138 (23)	1,824 (304)	2,068 (341)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)	13 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	10 (4)	1 (0)	11 # (4)	235 (56)	206 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	2	2
	A型肝炎	0	0	0	12	5
	オウム病	0	0	0	4	1
	つつが虫病	0	0	0	0	5
	デング熱	1	1	2	19	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	0
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	2	2	4	38	47
五類 (14)	アメーバ赤痢	2	2	4	50	55
	ウイルス性肝炎	1	1	2	15	17
	内訳					
	B型	1	1	2	15	11
	C型	0	0	0	0	6
	急性脳炎	0	0	0	7	35
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	7	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	10	10
	後天性免疫不全症候群	1	3	4	121	86
	内訳					
	無症候性キャリア	0	0	0	65	43
	AIDS	1	3	4	47	32
	その他	0	0	0	9	11
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	48	46
	内訳					
	無症候	0	0	0	19	19
	早期顕症	0	0	0	26	26
	晩期顕症	0	0	0	3	1
	先天梅毒	0	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	3	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	1
	風しん	0	0	0	3	10
	麻しん	3	0	3	19	29
	総計	96	75	171	2,431	2,666

#;0157;11件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2010年11月			2010年 累計	2009年 総計
		愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	62	59	121	1,570	1,695
	性器ヘルペスウイルス感染症	38	16	54	574	631
	尖圭コンジローマ	16	16	32	333	447
	淋菌感染症	30	35	65	749	692
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	78	23	101	1,125	1,090
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	18	4	22	214	146
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	1	2	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2010年49週(2010年12月6日～2010年12月12日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (保健所別)																							
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	17	186	102	78	302	3,711	241	72	33	104	9	5	104	0	16	1	0	3	3
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	157	91	52	231	2,665	195	58	19	82	9	4	91	0	14	1	0	3	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	5	29	11	26	71	1,046	46	14	14	22		1	13		2				3
瀬戸	9	9	2	3	1	10	17	7	18	199	16	2		3	1		3		1				
津島	7	7	2	2	1	5		1	9	326	6	1		8	2	1	9					2	
師勝	4	4	1	1			1	2	13	71	3		1		1				2				
一宮	16	12	3	4	1	27	5	4	14	194	13			4	2		8		1				
春日井	9	9	2	3	1	23	11	6	10	305	19	5		6	1		14						
江南	6	6	1	2		18		2	23	272	9		7	7			2		4				
半田	6	6	1	2	1	8	2		14	126	28	11	2	5			2						
知多	7	7	2	2		21	3	2	16	104	6	6		6		2	1						
岡崎市	11	7	2	4	1	1	10	6	26	70	22	12	2	9			2						
衣浦東部	13	13	2	4	1	11	38	12	55	257	28	14	2	13		1	12		4				
西尾	5	5	1	2	1	1		1	4	112	3	1	1	2	1		1						
豊田市	9	9	2	4	1	14	3	1	15	105	18	2	1	8			5		1			1	
豊橋市	12	8	2	4	1	11		2	4	284	13	1		5			8						
豊川	9	8	1	2	1	7	1	6	10	239	11	3	3	6	1		21		1	1			
新城	2	2			1					1							3						

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告



愛知県感染症情報

2010年49週(2010年12月6日～2010年12月12日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	157	91	52	231	2,665	195	58	19	82	9	4	91	0	14	1	0	3	0
～6ヶ月	39				26	7			3									
～12ヶ月	23	1			124	14	2		34	1								
0歳															1			
1歳	49	5	8	4	313	27	23		41	1	1	3		2				
2歳	21	3	5	4	296	30	10	2	4	2		5						
3歳	15	8	8	14	324	34	8	3		1	1	11						
4歳	7	2	10	21	318	31	6	2				18						
5歳	1	6	8	32	252	26	2	4			1	12						
6歳		5	5	48	201	11	5	1			1	14		1				
7歳	1	11	3	33	149	7		3				9		1				
8歳	1	12	1	27	104	2						10						
9歳		3	2	17	79	3				1		2		1				
5歳～9歳																	3	
10歳～14歳		16	2	22	169	2	1	4				7						
15歳～19歳		3		2	27	1												
20歳～				7	283		1			3								
20歳～29歳		5												1				
30歳～39歳		4												5				
40歳～49歳		1												1				
50歳～59歳		2												2				
60歳～69歳		2																
70歳～																		
70歳～79歳		2																
80歳以上																		

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告